はじめに

昨年に続き、今年も暑い夏になりました。8月末、利賀に戻ってきた留学生は「東京はもっと暑かったよ！」「京都は外出られないですよ！」と、朝晩の涼しさを喜んでいる様子。川遊びや白山登山に向かい、また生き生きと動き出した子どもたちの姿から、残暑の中にも少し涼やかな風をもらった気がした夏の終わりでした。

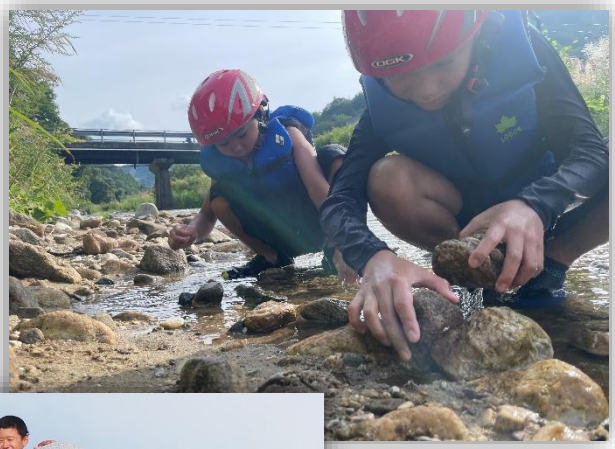
さて、このごろの留学センターは、地域の方にいただいた幼虫や卵が成長し、たくさんのカブトムシや蚕で賑わいました。起床後「朝のつどい」では、指導員から子どもたちへ1日ひとつ自然の話をするのですが、センターの周りにも生きもののネタが尽きないこの季節。鹿や鳥や虫の声。外に出て遊ぶ子どもたちは、熟したしだれ桃や柴栗をかじったり、シマヘビやヒキガエルを見つけてやいやいとつついたりしています。山の色も日に日に変わり、田畑、そして食卓にも秋の実りが。四季の変化や生きものに囲まれる日常は、自然の中で暮らす山村留学の醍醐味のひとつと言えるでしょう。

秋の利賀は、今年も楽しい行事が目白押しです。忙しい2学期ですが、自然の移ろいも節々に感じながら、子どもたちと共にひとつひとつの行事を楽しんでいきたいと思います。

松浦　実穂

【活動日程】

8／20 帰園
8／21 川遊び
8／24 白山登山(～25日)
8／27 ホームステイ開始
9／5 センター活動開始
9／7 井波散策／SCOT 観劇
9／8 個人体験／畑の作業
9／14 (前)個人体験活動
9／15 個人体験活動
9／16 稲刈り
9／21 個人体験活動(～23日)
畑の作業(～22日)
9／24 ホームステイ開始



百瀬川にて…
何かいるかな？

白山登頂！

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　／　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp　／　WEB：http://www.nanto-toga.com/

8／21　川遊び

帰園後最初の活動として、百瀬川にて川遊びを行いました。この日は夏休み最終日。地元生３人も参加してくれて、１ か月ぶりの再会と利賀の自然を楽しんだ活動となりました。

今回は少し水深が深いところで、浮き輪に乗って浮かんだり、飛び込んだりしました。夏の日差しの下でみんな全身ずぶ濡れになって川遊びを堪能しましたが、日が傾くにつれて寒さを感じている様子も。

夏の終わりの寂しさを感じながら、二学期への期待も高まる一日でした。

8／24～25　白山登山

二度目の登山活動として、日本三霊山の一座である白山に登りました。今回は地元生２人も一緒です。長い登りを黙々と歩き、行動食のハンバーガーを美味しく食べます。開けた場所ではやまびこに挑戦しながら、一歩一歩山頂を目指していきました。最後の登りを越えた先には、描きたくなるような夏の山景が。そして、山小屋で荷物を整えた後、全員で標高 2702ｍの御前峰山頂を踏みました。

小屋での食事後はもう夕暮れ。美しい黄昏時の色が空に広がっています。「ずっと眺めていられるね」と、日の入りの余韻に浸り、消灯時間まで山の空気を味わいました。

翌朝は残念ながら雨でご来光を見ることはできませんでしたが、素晴らしい景色を見て、たくさんの感動があった登山でした。

私が白山登山で一番印象に残っているのは、1 日目の夕焼けです。最初のほうは空をオレンジ色が支配していました。しばらくすると青や緑が出てきました。左のほうは雷がずっと鳴っていて、背後は巨大な入道雲でおおわれていました。時間がたつにつれ変化していく夕焼けは、ひとときも目が離せませんでした。何時間もかけて登った後の夕焼けだったので、とても心にしみました。（はるえ）

日々のあれこれ

夏休みどうだった～？

ヨーヨーを持ってまち歩き♪

開演を待つ(SCOT)

はざかけ完了！

9／7　井波町あるき・SCOT 観劇

南砺市を知る活動として、日本一の木彫りのまち・井波を訪問。今回の活動は、井波出身の留学生が計画してくれました。

まずは木彫り体験で、ぐい呑みを作ります。「これでみんなとお酒を飲むのが待ち遠しい」と、将来の夢が一つ増えたようです。続いて瑞泉寺とその門前町の八日町通りを散策し、情緒あふれる井波の町並みを楽しみました。ベーカリーで買った美味しいパンを頂いた後は自由時間に。名水を汲んだり、かき氷で涼んだり、可愛らしいお菓子屋さんを訪れたりと、舌鼓をうちながらの散策でした。

利賀に戻った後は、劇団 SCOT の観劇へ。難しいストーリーでしたが、堂々とした役者さんの演技や盛大かつコミカルな演出に、「2 時間あっという間だった」「来年も絶対見に来る！」と感動している姿が見られました。

南砺市の魅力を堪能した一日となりました。

僕が今回の活動で一番うれしかったことは、みんなに地元の井波のよさを伝えることができたことです。なぜなら、利賀と井波はかなり近いのにみんなあまりイメージがなかったからです。また、今回は僕が井波で 13 年間すごした中で特にみんなに「こんな所があるんだよ。」と知ってほしい所を紹介できたので、それもうれしい理由です。（ゆうせい）

みらい留学農事歴

9/8　畑:収穫,片付け
　　管理,種まき
9/16 田:稲刈り
9/21 畑:収穫,片付け

【田んぼ】８月 20 日、留学生が帰ってくると田んぼには稲穂が頭を垂れ始めていました。今年度は、天候に恵まれたのか、はたまた除草作業の時期がうまく嚙み合ったのか、良い実りの時期を迎えることが出来ました。

そして、迎えた９月 16 日の稲刈り作業。14 日までは晴天続きで「これは最高のコンディションで稲刈りができるのでは？」と期待していましたが、15 日にはかなりしっかりと雨が降って田んぼも濡れてしまいました。16 日も朝方は天気がぐずついており、「今年も雨の中での稲刈りか…」と少しガッカリしましたが、朝食を食べ終わったころから天気は一転してカンカン照りの太陽と暑さになりました。通常の作業であれば、肌がかぶれないように雨具上下を纏って作業を行うのですが、この湿気と暑さの中で身体が持たないのではと思い、「かぶれてもよい。という人だけは雨具を脱いでもよい。」という条件で作業を進めていきました。途中 8・9 年生は刈られた稲を束ねていく結束の作業に回り稲架に掛ける準備をしていきました。子どもたちからは何度も「暑い…。」「次の休憩はいつですか…？」と弱気な声が上がりはしたものの、最後まで粘り強く作業を続け、昼食を挟んで 17:40 頃、全ての作業が終了しました。

10 月５日に行う脱穀で、今年度の収穫量が分かるので、皆で期待しているところです。

【畑】夏休み明けは、スタッフが夏休みに収穫・保存しておいてくれたトウモロコシなどの夏野菜が食事に並びました。夏野菜が出ると「これセンターの？」と気にして味わう留学生でした。

９月に入ると、ナスやピーマンなどを片付けつつ、畑に残るネギなどの管理や、収穫しそびれていたじゃが芋、枝豆、オクラや赤紫蘇などの収穫も行いました。赤紫蘇ジュースを作ったり、鷹の爪を結んで干したりしながら収穫を楽しんでいます。種まきが遅くなり、かぶ類はうまく芽が育ちませんでしたが、ほうれん草が少しずつ育っています。畑の季節もあと少し、丁寧に楽しみたいと思います。

保護者だより

４月、次男坊の駿が利賀へ出立したときに、寂しさと同時に彼の利賀での新生活に親として不安と期待を抱いたことが思い出されます。本人の胸中はいかばかりだったでしょうか。

寄宿の準備では足りないものを揃えたり、昔使っていた登山道具を引っ張り出して使い方を教えたりと、直前まであたふたしていたのが昨日のことの様ですが、はや半年が経とうとしています。

駿が利賀に移ってからしばらくの間は家の中が妙に静かに感じて、センターのスタッフブログの更新が待ち遠しく、自然にあふれた内容のブログを眺めてはスタッフの皆さまに感謝しつつ、子供たちの元気な様子に安堵したものでした。そして桜が散り暖かくなると、父親の胸に去来した心配は、「駿、魚釣りできているかな」でした。母親からすると「そこじゃないだろう」も甚だしいでしょうが、長男とは対照的に、幼いころから野山と生き物が好きな駿は釣りも好きで、よく「釣りに行きたい」と言っていたものです。利賀に行けば釣りができる…。愛知では満足に釣りに連れて行ってやれなかった父の負い目も、山村留学に託したのでした。

世の中、人によっては青少年期に、自然はいらない、街があればいい、と感じる時期があるかもしれません。しかし、山村での多くの体験と、自然や人との関わりをとおして感性を養った子供たちが、自然環境・文化環境の調和こそが人間社会の持続可能性につながるといった様々なことを先々考え続け、実感してゆくことを願ってやみません。

Supporters' Voice

※留学生を見守り、支えてくださっている地域の方から、メッセージをいただきます

野原 宏史さん（利賀地域づくり協議会 会長）

私は、昭和 37 年に利賀村で生まれ、今日まで育ちました。そのころの利賀村は、冬になると 3～4mくらいの雪が降るのが通常でした。特に 38 豪雪、56 豪雪のように生活が困窮する時もありました。56 豪雪の時は、正月過ぎから雪が降り続き、大学生、高校生が利賀村から出ることが出来なくなり、1 月 7 日だったと思いますが、除雪車(ブルドーザー)が先導して、八尾回りで井波町まで行った記憶があります。当時、私は高校生で朝８時に利賀村役場を出発して、井波駅に着いたのが午後３時でした。

利賀村ポスターの前に立つ宏史さん。留学生も地域づくり協議会が企画する様々な行事に参加させてもらっています。

利賀村は、昭和 45 年３月まで、冬期間の除雪が無かったので(雪崩等の危険があった為、除雪車が無かった為)冬は陸の孤島でした。現在は除雪体制もしっかりしており、本当に便利になったと思います。利賀ダム工事により、工事用道路が国道 471 号線になれば、ますます便利になります。地域が元気になることを夢見ています。先人の大変な生活を忘れることなく、未来に向かって生きていくのが大切だと思います。子どもも大人も皆で力を合わせて頑張りましょう。

みらい留学 定地定点

※留学生は利賀の四季を体感する定「地」定点観測のため、毎朝外に出て「朝のつどい」を行っています。朝のつどいでは、自然にまつわる声かけを指導員からひとつ。記録の一部を紹介します。

８／２１（水）　晴れ　気温：２１℃　【オロロ】

・「イヨシロオビアブ」のこと。きれいな水辺に棲むとか。大量発生中！

９／６（金）　晴れ　気温：２１℃　【イヌタデ】

・ピンクの花が咲く。特に役に立たないタデという意味で「イヌタデ」と名前が付いている。

・昔はままごとなんかに使われていたらしい。